安永己亥歳且

竺紫風羅堂講中　肥前田代

三ツ物

幽篁舎

初市や稲も俵式のもやゝとも　蛙水

名れ竹よむその　伯海　枫江

お百度に義入同士よとらて　素十

歌節

のんとりとゝかりそくて　初日氣　迎月

大ぬくや歌迦ゝ〻ふてはい一味　伟雅

袋〻ゆれもめてゝ　ゝ　ゝ　伟陽

蓮葉やえつもそゝちに芸のゝ　枫江

番匠ゝ〻ふの亭ゝゝ茂ゝ　有節

引ゝてゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　菊二

東方朔や蔵のゝもあつたゝり　里翠

かけ翁やはゝゝゝ多ゝ　柳之

這うゝれ孫ゝあやゝれかゝ　史扇

枝村もゝゝあつてよ初ゝゝ　朱鴈

あゝゝゝ日の休もゝゝ新葵　杜川

笑ゝ稱ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　浦夕

戦ゝゝ初ゝれよゝゝやゝ　二松

九僊下

みゝやゝゝ也ゝ　ゝ　ゝ　素十

成ノ

寄物

住しれ者所住者の物柴と
実の寄むとはかりしれり
手しまはまはの船とはて
久れきに

きりかなと解放物をくひ人も　九仙下
牛の森楽又歳一吉の日　冬年を
面白ふ志こ名の歌文章に入て　註あ
たりて普請ちかあ　布功
言の自言たく気の捨むひ　常祝
世世中の秋ハ馬ま　杜川
ウ
角力ハ色の上ぶ　近月
者の人ら井れ法仏ま　史扇

如む寺を止よ〳〵龍の之ら　与節
続の山まくり初　朱厂
之ても之ら只む　了変
百よ明れ君れ之の　枕し

会寄松中雲

文通

郭子之初れ　設定の物よや　一珠楼
　　多花　　危江

鳥雲舎
和今ふくかれ　文推
八仁の千ら示

橋治梓